

平成 30 年度

事業者番号	0062	事業所番号	006201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	日本ワイパブレード株式会社		
事業所所在地	市区町村	加須市	
	字・地番	下高柳 311番地	
産業分類名(中分類)	輸送用機械器具製造業		
分類番号(中分類)	31		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	自動車用ワイパーアーム&ブレード製造 従業員数 1230名	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	エネルギー原単位を毎年1%低減 排出基準量13%減の目標達成			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減 目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	36,988	t-CO ₂	事業所区分 第2区分	
	削減目標量 (計画期間合計)	5,527	t-CO ₂		

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	~		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	3,665	3,837	4,132		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		7,201	7,537	8,114		
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		7,201	7,537	8,114		

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				1.5374	1.5328	1.5520		
活動規模の指標	生産量							
	○ 生産本数 万本/年	4,684	4,917	5,228				

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	8,503	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	8,503	8,503	8,503	8,503	8,503	42,515	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							36,988
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							5,527
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	7,201	7,537	8,114			22,852	
	排出削減量 (F = A - E)	1,302	966	389			2,657	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

 (6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

・平成28年9月生産設備(樹脂成型機、鋳造設備)を増設したため、排出量が増加した。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調機更新(4台)	H27年度	65
2	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	工場1変電所変圧器更新(トップランナー変圧器)1500KVA, 200KVA	H27年度	28
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調機更新(4台)	H28年度	65
4	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	工場2変電所変圧器更新(トップランナー変圧器)	H29年度	32
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調機更新(2台)	H29年度	33
6	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	事務棟変電所変圧器更新(トップランナー変圧器)	H30年度	20
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場2F全体照明1/2のLED化	H29年度	26
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場1F全体照明のLED化	H30年度	39
9	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調機更新(4台)	H30年度	65
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場2F全体照明1/2のLED化	H31年度	26
11	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調機更新(2台)	H31年度	33
12	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務棟、その他建屋照明LED化	H32以降	52
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text entry, occupying most of the page below the header and section title.